

32. NPO 用の会計ソフトにはどのようなものがありますか？また、企業用の会計ソフトとNPO用の会計ソフトはどのような点が違うのでしょうか？

NPO用の代表的な会計ソフトとしては、ソリマチから出ている「会計王 NPO 法人スタイル」、TKC から出ている「NPO 法人会計データベース」(TKC ユーザーのみ使用可能)があります。またクラウド会計のサービスとしては、NPO 会計支援センターの「ee-会計」と「web 会計」、freee(株)の「freee」があります。「freee」は NPO キット(Excel,無料)と組み合わせることで NPO 法人会計基準に対応しています。

NPO 用の会計ソフトと企業用の会計ソフトでは以下のような違いがあります。

①企業用の会計ソフトでは、活動計算書や財産目録は作ることができません。貸借対照表は「正味財産の部」が「純資産の部」と表示されますので、エクセルなどの書式に打ち直す必要があります。NPO 用の会計ソフトでは自動的にこれらの財務諸表の作成が可能です。

②企業用の会計ソフトでは、勘定科目の設定が営利企業用になっているため、勘定科目の設定を変更する必要があります。

③企業用の会計ソフトには事業費、管理費の区分などはありませんが、NPO 用のソフトでは最初から事業費、管理費の区分が表示され、その区分それぞれに、各経費の勘定科目が表示されます。(たとえば「人件費」という勘定科目が事業費にも管理費にも表示されます)

「みんなで使おう！NPO 法人会計基準」の[会計ソフトの紹介](#)で、これらの情報を提供しています。また、小規模法人向けの簡単な Excel の会計ツールのダウンロードもできます。